

# とよなか がんサロン 開催報告

第7回 平成26年12月22日 開催

【談話会】（13：30～15：00）

参加人数：患者3名 ・ 家族2名

医療スタッフ：MSW2名

いつもは1時間の開催とさせていただいている談話会ですが、「時間が短い」といったお声をときどきいただきます。今年から始めました「とよなか がんサロン」、年内最後となる今回はミニレクチャーをお休みさせていただき、1時間半の談話会で今年を締めくくりました。

初めに「今年一番の〇〇」というテーマでお話しいただき和んだところで、患者さん・ご家族それぞれの立場で気になっていること、中でも治療や食事について、患者さんにご家族の関係など、皆さんが関心のある話題について話し合いました。

食事については、抗がん剤の副作用がなくそれほど困らなかった、という方もおられる一方、テレビに映る料理を見ただけで吐き気がする、吐き気と食欲不振にどう耐えて良いかわからないくらいつらかった、以前好きだったものを全く受け付けなくなってしまった、という方もおられ、栄養を摂るための工夫をし、薬の変更などを経て、つらい時期を乗り越えた体験をお話しいただきました。また、ご家族の立場でも「身体に良いものをとって、あれこれ工夫したが、逆効果だったかもしれない。患者さんが食べたいものを食べるのが一番良いのではないかと感じた」という経験も語られました。

患者さんにご家族、それぞれの立場で感じていることについて話しました。ご家族は、患者さんの思いがわからないから「言ってほしい」と思い、患者さんは、ご家族に気遣わせたくないから「言わないでおこう」と思い、近い存在だからこそ言えない思いがあるようです。ですが、そこに第三者（医療スタッフ）に間に入ってもらい、3人で話してはじめて「そうだったのか」と相手が考えていることがわかり、話しやすくなった、という経験を話されました。患者さんたちからは「家族に負担をかけないためにも、言ったほうがいいのか」「家族は、知らされないほうが悔しいのかもしれない。家族に後悔を残さないためにはどうしたらいいのか考えないと、と思う」といった意見が出ました。

食事のことも、患者さんにご家族の関係のことも、頻繁に話題に上がり、皆さんが関心のあるテーマのようです。来年もきっとミニレクチャーや談話会で取り上げられるかと思っております、同じように悩んでおられる方、ご自身の経験談を今悩んでいる方に話して下さる方など、皆さんの参加をお待ちしております。